



2025年5月9日

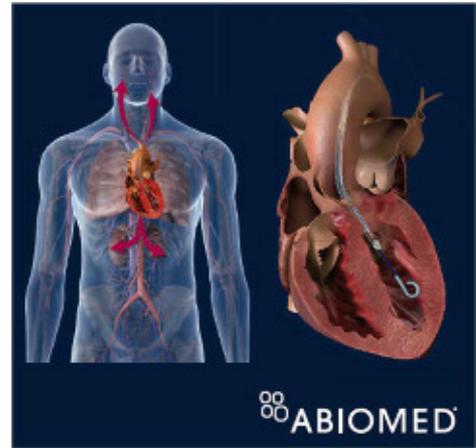
“インペラ”導入のお知らせ“
～重症心不全患者さまの安全性向上と治療選択肢拡大を目指して～

このたび太田総合病院附属太田西ノ内病院は、最新の経皮的左室補助人工心臓装置「インペラ® (Impella)」を導入し、2025年6月1日より運用を開始します。これにより、高リスク心不全治療や重症心筋炎の患者さまに対し、より安全で負担の少ない循環サポートを提供できるようになります。

1. 導入の背景と目的

当院では、地域の高齢化に伴い心血管疾患の重症化例が増加しています。これまでの補助循環装置では、患者さまへの負担や合併症リスクが課題となっておりました。

インペラ®は、最小限の侵襲で最大の補助循環を可能にする米国 Abiomed 社製の小型デバイスで、補助循環用ポンプカテーテルが大動脈内で心拍出量を最大約 5.0 L/min までサポートします。



2. インペラ®の主な特長

- 高い安定性：カテーテル挿入のみで補助循環を開始でき、手術時間の短縮・出血リスクの低減に寄与します。
- 早期離床・早期社会復帰：補助中も患者さまのリハビリが可能となります。
- 幅広い適応：急性心筋梗塞や重症心不全など多岐にわたる症例に対応します。

3. 当院の取り組み

- 循環器センターとして循環器内科・心臓血管外科チームが連携し、術前評価から術後管理までの包括的プログラムを構築してまいります。
- 専用研修を修了したスタッフが 24 時間体制で機器管理を実施し、安全性を最優先に運用いたします。

〈本件へのお問合せ〉

一般財団法人太田総合病院 財団本部総務部総務課 広報担当

【TEL】024-925-0088 (代) 【FAX】024-931-1155 【Email】soumu@ohta-hp.or.jp

受付時間：平日 9:00～17:00